

**新型コロナウイルスのパンデミックの軽減及び回復に係る
APEC バーチャル財務大臣声明（仮訳）
（2020年9月25日）**

- 1 我々、APEC エコノミーの財務大臣は、2020年9月25日にマレーシア財務大臣のテック・ザフリ・テック・アブデュル・アジズ議長の下、バーチャル会合を開催した。
- 2 我々は、強固で、持続可能で、均衡のとれた、包摂的な地域の経済成長及び金融安定性を支えることへのコミットメントを再確認する。我々は、今年のAPECのテーマである「共有された繁栄の強靱な未来に向けた、人間の潜在能力の最適化：方向修正・優先付け・進歩」を歓迎する。

世界経済および地域経済

- 3 2019年10月の前回会合以降、世界経済は新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックによりもたらされた前例のないショックに直面している。多くのエコノミーにとって、このパンデミックは、総供給・総需要及び対外セクター・対内セクターの両面において幾重のショックにより増大された、社会経済的脆弱性へのパーフェクトストームとなった。さらに、パンデミックはグローバル・サプライチェーンの破壊、金融市場の激しい変動、財政状況の悪化及び深刻な失業を引き起こした。特に我々は、我々の経済の根幹であり、かつ人口の大部分へ雇用を提供している中小零細企業（MSMEs）が負う不均衡な影響を懸念する。
- 4 我々は、新型コロナウイルスの流行が世界のGDPの成長に大きな影響をもたらすことを認識する。収縮しているGDPの成長見通しや対応・回復策への政府支出により、エコノミーの財政状況に圧力がかかっている。我々は、回復を助けるため景気刺激策を進めていく継続的な必要性を認識すると同時に、長期の強靱な発展及び将来の資金需要を支えるため、財政の持続可能性及び透明性を改善することの重要性を強調する。我々は、この点において公的財政管理を円滑にするための国際金融機関（IFIs）の取組の重要性を認識する。
- 5 見通しは非常に不確実ながら、経済が徐々に再開するにつれ、また、重要な政策行動を考慮すれば、グローバルな経済活動は将来に向けて回復すると期待される。持続的な経済回復はウイルスの治療、予防及び封じ込めの成功へ

の解決策を見つけることを前提としている。ウイルスが世界中に広がるにつれて、エコノミーは保健及び経済的影響のバランスをとる必要があった。我々は、全ての人々への公平かつ手頃なアクセスを支援する目的の下、安全かつ効果的な新型コロナウイルスの診断法、治療薬及びワクチンの開発を支援する。さらに、生命を守るため、人々の国内外の移動を制限することは必要であった。封じ込め対策が取られていなかったとすれば、結果として生じるウイルスの更に大きな拡大がまた深刻な経済的影響を与えていただろう。

- 6 我々は、2020年7月25日の貿易担当大臣バーチャル会合の共同声明と貿易担当大臣による「必要不可欠な物品の流れの円滑化に関する宣言」の合意を再確認し、このような困難な時期に経済回復を推進するために、自由で、開かれた、公正で、無差別的で、透明性のある、かつ予見可能な貿易・投資環境の重要性を再確認する。

- 7 我々は、新型コロナウイルスのパンデミックへの迅速な対応を支援し、強固で、持続可能で、均衡のとれた、包摂的な回復へ向かうための全ての利用可能な政策手段を引き続き使用することを決意している。これは、最も影響を受けたセクターと労働者を支援すること、及び社会のより脆弱な層に対する危機の不均衡な経済的・社会的影響に対処することを含む。

新型コロナウイルスのパンデミックの軽減及び回復に係る財政・金融政策

- 8 財務省、中央銀行、金融規制当局は新型コロナウイルスのパンデミックによる影響に対して前例のない政策により迅速に対応している。我々は、生命、生活、ビジネスを守ることを目的としてパンデミックの社会経済的影響の軽減と回復に係る経験を共有した。

- 9 我々は、前例のない財政・金融政策を国内で実施しており、また、新型コロナウイルスのパンデミックとその影響に対処するため政府間の取組を認識する。我々は、我々の特有の保健の課題、経済状況及び機会に合わせて対応を調整した。我々はまた、経験とグッド・プラクティスの交換を継続する必要性を強調するとともに、APECメンバーエコノミー間での強固で持続可能な経済回復の確保に向けた協調された多国間協力を奨励する。

金融統合と金融包摂のためのデジタル化

- 10 我々は、新型コロナウイルスのパンデミックが我々の経済のデジタル化を

加速させ、今や多くのビジネス、特に中小零細企業及び脆弱な集団の存続にとって重要となったことを認識する。

- 11 我々は、新型コロナウイルスのパンデミックの負の影響を最小化するための、デジタル経済の役割及びデジタルツールの価値を認識する。我々は、金融協力による連結性強化のため、特に金融インフラの分野における、2015-2025年 APEC 連結性ブループリントを実施することを認識する。我々は、デジタル金融包摂に係る APEC ロードマップを歓迎する。我々は、社会的距離政策の観点から、適切に対処すべき不法資金供与の新たなリスクに留意する。
- 12 我々は、2020年3月18日に持ち上げられた APEC ギグエコノミーチャレンジを通じ、APEC メンバーエコノミーから、ギグエコノミーワーカーの財務の健全性を改善するための実行可能で具体的な解決策を模索するマレーシアの努力に感謝する。APEC ギグエコノミーチャレンジで提示されたアイデアは、新型コロナウイルスのパンデミックにより厳しい影響を受けているギグエコノミーワーカーを含む、金融包摂を支援するデジタル化の多くの役割を示す。我々は、新型コロナウイルスのパンデミックからのメンバーエコノミーの経済回復を一層後押しし、支援し得るデジタル経済の推進におけるマレーシアのイニシアティブを歓迎する。

災害リスクファイナンス・保険

- 13 我々は、現在及び将来の災害やショックを軽減し、また対応するための実用的な資源とスキームを模索するために災害リスクファイナンス・保険（DRFI）に係る既存の取組を継続するとともに、DRFI のアジェンダに将来のパンデミックを統合することの可能性を検討する。

戦略的協働

- 14 我々は、保健上の安全への大きな脅威が保健システムに特別な負担を課し、コストを増大させうることを強調する、APEC 保健ワーキンググループの新型コロナウイルスに関する声明を認識する。
- 15 我々は、メンバーの経済的対応の支援、及び危機を通して、また、回復へとメンバーを支援するツールキットの策定における、国際機関と国際金融機関の努力を歓迎する。

- 16 我々は、新型コロナウイルスのパンデミックを受けた、様々な経済的対応と回復政策の情報を共有するという経済委員会との協働を歓迎するとともに、持続可能で強靱な経済回復に向けた各エコノミーの構造改革アジェンダを引き続き奨励する。
- 17 我々は、メンバーエコノミーによるセブ行動計画 (CAP) の実施に係る進展を認識する。我々は、2021 年の会合での CAP 完了のための、新型コロナウイルスの現実と APEC ポスト 2020 ビジョンを考慮に入れた新戦略の承認を目標とする、調査及び中間評価に取り組むペルーとニュージーランドによる努力を歓迎する。

その他

- 18 我々は「パンデミック後の回復の加速と金融サービスの再編についての財務大臣への APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC) 2020 年報告書」の提言に留意する。
- 19 深刻な地域的景気低迷及び新型コロナウイルスが財政の持続可能性にもたらしめている課題に鑑み、我々は、アジア・太平洋地域において税の安定性を促進し、租税回避及び脱税に取り組むことへの我々のコミットメントを強く再確認する。我々は、G20/OECD の BEPS 包摂的枠組みがグローバルなコンセンサスに基づく解決策に至るべく、デジタル化に伴う課税上の課題に係る作業を前進させ続けることの重要性を強調する。
- 20 我々はアジア開発銀行 (ADB)、国際通貨基金 (IMF)、経済協力開発機構 (OECD)、世界銀行グループ (WBG)、ABAC の財務大臣プロセスに対する継続的な支援に感謝する。これらの機関による 2020 年のイニシアティブ及び報告書は付属書に掲載される。
- 21 我々は本年の APEC バーチャル財務大臣会合のホストを務めたマレーシアに感謝する。我々は議長国ニュージーランドの下、2021 年に再会する。

(以上)